

2022年度 天スタ杯／NFA スーパーカップ 開催要項

チャレンジ

1. 趣 旨 (一社) 奈良県サッカー協会は、次代を担うU-15年代の技術の向上と心身の健全な育成を図るとともに、第3種年代の普及と底辺拡大を目的として、全国大会に発展しない奈良県独自の本大会を実施する。
2. 大会名称 2022年度天スタ杯・NFAスーパーカップチャレンジ
3. 主 催 (一社) 奈良県サッカー協会
4. 主 管 (一社) 奈良県サッカー協会 第3種委員会
5. 協 賛 (株) モルテン
6. 特別協賛 天理スタミナラーメン(有限会社なかい) *予定
7. 期 日 2022年9月17日(土)から10月10日(日)までの土・日・祝日
8. 試合会場 奈良県フットボールセンター及び県内各グラウンド
9. 参加資格
 - (1) (公財) 日本サッカー協会に、2022年8月28日までに加盟登録された第3種単一チームであり、次の条件を満たしていること。
 - (2) ① 上記(1)のチームに2022年8月31日までに登録された選手であること。但し、一家転住等の理由により、上記期限以降に移籍または追加登録した選手が大会参加を希望する場合は、第3種委員長が別途了承のもと、大会への参加が認められる。
 - ② 日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、同一「クラブ」の別チームに所属する選手を移籍手続きを行うことなく、本大会に参加させることができる。尚、本項の適用対象となる選手の年齢は第4種年代とし、第3種及びそれ以外の年代の選手は適応対象外とする。
 - (3) (公財) 日本サッカー協会により「クラブ申請」を承認された「クラブ」に所属するチームについては、第4種年代、女子の選手の出場が可能である。大会エントリー時に必要な3種年代の選手は最低8名で、最小選手数は11名とする。4種年代、女子の選手登録人数は最大5名とし、1試合の同時出場は最大3名とする。
 - (4) 選手数(協会登録)が不足している同種別の複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合のみ認めることとする。但し、11名以上の選手を有するチーム同士の合同は、不可とする。
 - ① 合同するチーム及びその選手は、それぞれ(1)および(2)①を満たしていること。
 - ② 極端な勝利至上主義を目的とする合同でないこと。
 - ③ 大会参加申し込みの手続きは、それぞれのチーム代表者が協議の上、代表チームが行う。
 - ④ 合同チームとしての参加を第3種委員長が別途了承すること。
 - ※サンライズリーグ(U15サッカーリーグ2022関西)及びスーパーカップに出場するチームが参加する場合は、上記大会のエントリー(予定)選手13名をプロテクトすることとする。尚、プロテクト選手名簿を作成し、監督会議の際に提出することとする。
 - (5) 共通理解事項として、以下の条件を確認しておく
 - ① 登録完了日とは、(一社) 奈良県サッカー協会事務局の承認日であること。
 - ② チームとして、有資格審判員の帯同が可能であること。〈最低1名〉
10. 競技方法
 - (1) リーグ戦とトーナメント方式により、優勝以下第3位までを決定する。
 - (2) リーグ戦における順位決定方法は、勝ち＝3点／引き分け＝1点／負け＝0点の勝ち点により多い順に決定する。尚、同一の場合は、以下の項目に従い決定する。

- ① 全試合のゴールディファレンス（総得点—総失点）
- ② 全試合の総得点
- ③ 当該チーム同士の対戦成績
- ※ 当該チーム同士が同一ピッチ上に残っている場合は、P.K. 方式により決定する。
- ④ 1～3の項目において同一の場合は、抽選により決定する。
- (3) 諸事情（不測の事故及び人数不足（7人未満）等）による、1試合のみの棄権については、その試合のスコアは、0-5とする。
- (4) リーグ戦途中から、それ以降の試合をすべて棄権するチームがでた場合も同様にスコアは0-5とするが、これによりゴールディファレンス等で順位に影響を及ぼす場合は、棄権チームとのスコアはすべて削除する。
- (5) 4チームが3ブロックと5チームリーグが2ブロックで予選を行い、上位2チームによる10チームで決勝トーナメントを実施する。
- (6) 試合時間 ①予選リーグ：60分（30-5-30）
 規定の競技時間内に勝敗の決しない場合は引き分けとする。
 ②決勝トーナメント：70分（35-10-35）
 規定の競技時間内に勝敗の決しない場合はペナルティーキック方式により、次回戦に進出するチームを決定する。但し、決勝戦においては5分間の休息の後、10分（5分ハーフ）による延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーキック方式により勝敗を決定する。

11. 競技規則

- (1) 最新の（公財）日本サッカー協会、「サッカー競技規則」による。
- (2) 選手交代
 【予選リーグ】【決勝トーナメント】
 大会参加申込み（エントリー）した最大 25 名の選手のうち、最大9名が主審の許可を得て交代することができる。（「再交代」は実施しない。）後半の交代回数は3回とする。飲水タイム等時は回数に含まない。
- (3) 退場処分を受けた者、または警告を2回（累積）を受けた者は、次の1試合に出場できない。但し、予選リーグで受けた警告は、予選リーグ終了時点でリセットする。それ以外に、処遇を規律委員会（上地信親委員長）にて審議、決定する場合がある。
 N F A リーグ最終戦で退場処分を受けた選手、もしくは複数試合の出場停止処分が未消化の選手は、本大会に持ち越す。
- (4) 試合開催時の天候に応じて、暑熱対策として飲水タイム（クーリングブレイク）を設けることができる。但し、天候やその他の状況により本部、ならびに主審の判断で設けない場合もある。
- (5) 日没、雷等により試合続行が不可能と判断された場合は、サスペンデッドゲームとし、後日試合を中断する前の状態から再開する。したがって、両チームの出場メンバーは原則として変更することが出来ない。ただし、中断前の試合で出場していた選手が続行試合当日に怪我や疾病などを理由に出場できない場合など、不可抗力による選手交代は交代メンバーの中で認められる。交代メンバーの補充も同様とする。尚、雷等の場合、中断時間は60分を目安とする。その判断は、主審が会場責任者と協議の上、決定する。

12. 表彰

優勝以下第3位までに表彰状、優勝チームには優勝杯を授与する。

13. その他

- (1) チーム代表者は、原則第1試合の開始45分前（各会場にて変更可）に本部に集合し、運営にあたること。但し、競技場の準備等（補助員等）については、別に会場担当及び大会本部より連絡をすることがある。

(2) 選手のエントリーは、所定の用紙を使用し行うこと。チームの初戦打合せ時に、本部へ1部提出しチェックを受ける。以後、チェックを受けたエントリー用紙の複写を各試合のエントリーメンバー票とする。また各試合15分前までにエントリーメンバー票の先発メンバーに〔O〕印を打ち、本部に3部提出すること。

(3) ユニフォーム規定は以下のとおり。

- ① 選手はすべて同一の服装であること。
- ② ゴールキーパーの服装は他の選手と区別できる服装であること。
- ③ ユニフォームは色違いのものを2着用すること。同系統色が重なった場合、コイントスの上、一方のチームにユニフォームの変更を求める。
- ④ ユニフォームの広告表示については、日本協会「ユニフォーム規定」に基づき、承認された場合にのみこれを認める。但し、日本中学校体育連盟加盟チームは、連盟規定によりこれを認めない。
- ⑤ シャツの前面・背面に登録した番号を付けること。ショーツの番号は付けることが望ましい。

ただし、今大会では以下のことも認める（大会前に相談してください。）

- ① 本競技会に登録した1着以上のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、着用しなければならない。（2着以上の持参が好ましい。）
- ② ユニフォームデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。
- ③ ゴールキーパーのユニフォームについて、ショーツ、ソックスはフィールドプレーヤーと同系色でも良いものとする。
- ④ 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合においていずれのチームがビブス等を着用することを決定する。
- ⑤ ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ⑥ アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。

(4) 選手証は写真貼付の上、必ず携帯すること。不携帯は出場できない。電子選手証可。

※電子選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・大会申込書をカラー印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

(5) 審判は必ず審判服を着用すること。また試合開始30分前に到着し、審判団として打ち合わせを行うこと。主審は審判報告書を作成した上で、審判委員長まで提出すること。予備審も試合前に指名しておく。尚、審判は有資格者で有り、審判手帳（カード）を携帯し提示すること。

(6) マッチコーディネーターをおくこと。第3者の立場の派遣役員に依頼することが望ましいが、無理な場合は、その会場の役員の中から指名をする。

- ・ 試合運営の総括責任者である。
- ・ グラウンド状況の把握。
- ・ 試合運営状態、試合進行状況の把握とチェック。
- ・ 選手の態度のチェック。
- ・ 審判員のチェック。
- ・ 悪天候や試合におけるトラブルが発生した場合、審判団、役員と協議の上で試合続行の可否について最終判断を下す。

- (7) 大会期間中の負傷及び疾病については、各チームで対応し、主催者はその責を負わない。各チームの責任において、参加者全員が傷害保険に加入していること。
- (8) 試合球はJFA公認5号球を用意すること。
- (9) 敗退したチームの関係者は、次回戦に進出すべき予定ゲームの競技役員及び審判を務めなければならない。(補助員の場合も含む)
- (10) 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、「奈良県サッカー協会競技会運営ガイドライン」、「奈良県3種事業運営ガイドライン」に基づいて、大会運営を行う。